

競技注意事項

1 競技規則について

2024年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則、並びに本大会申し合わせ事項による。

2 招集について

- ①トラック競技、フィールド競技とも現地（競技場所）招集とする。トラック競技はスタート地点に集合すること。
- ②招集開始及び完了時刻は競技日程に記載する。
- ③招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- ④招集完了5分前までに競技場所で待機し、最終点呼を受けること。その際アスリートビブス（ナンバーカード）、競技用靴等の点検を受けること。
- ⑤リレーに出場する競技者で、同一時間に跳躍種目と兼ねて出場する者は、跳躍審判主任に申し出て了解を得た上で、リレーに出場すること。この際、代理人からの申し出も可とする。

3 アスリートビブスについて

- ①アスリートビブスは胸と背に1枚ずつ確実につけること。女子選手のセパレートタイプのユニフォームについては、ナンバーが審判から見えるように4ヶ所で確実に留めること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸または背に1枚つけるだけでよい。
- ②トラック種目では、腰ナンバーを右腰後方につけること。腰ナンバーはフィニッシュライン奥で配布するので、競技者各自が持ち出し、競技終了後は同じ場所へ返却すること。
- ③ランニングシャツの形状により、裾を外に出して出場する場合は、必ず腰ナンバーが見えるようにすること。

4 競技場で使用する競技用靴について

- ①スパイクピンの長さは、9mm以内とする。ただし、走高跳は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は、11本以内とする。ピンの形状は全天候舗装の競技場で使用できる物とし、土のグラウンド用のピンを使用することは禁止する。
- ②靴底の厚さは以下のとおりとする。（このルールは2024年10月31日まで適用）

800m未満のトラック種目	20mm以内
800m以上のトラック種目	25mm以内
三段跳以外のフィールド種目	20mm以内

- ③靴底の厚さの検定は必ず実施するものではないが、招集所審判長およびトラック・フィールド各審判長の判断により、検定を実施する場合がある。
- ④シューズについては、WA（世界陸連）の認証品リストを確認の上、使用すること。（下記QRコードから閲覧できるWA公式サイトを参照）

WA（世界陸連）Web サイト；シューズのリスト



5 棄権について

出場種目を棄権する場合、本大会においては特に申し出なくとも良い。招集完了時刻に競技者が競技会場に来ておらず、同一時刻に他種目に出場する旨の連絡もない場合は、棄権したものと見なす。

6 練習について

- ①練習会場は野球場（メイン球場ではなく、サブ球場）を使用し、安全に留意して練習を行うこと。野球場は午前8時から使用可とする。
- ②野球場でのスパイクシューズの使用は禁止する。
- ③陸上競技場内での練習は、時間と場所を指定して開放する。競技の妨げとならないよう、また安全に十分留意して使用すること。
- ④陸上競技場の芝生フィールド内は9:20までの利用とし、以降立入禁止とする。
- ⑤練習に際しては競技役員の指示に従って安全に練習すること。
- ⑥選手・関係者及び公園の一般利用者の安全確保のため、公園内ではジョギング以外の練習は禁止する。（ミニハードル、メディシンボール投げ等は野球場で実施すること。）

7 競技者の入退場について

- ①競技場内への入場は、100mスタート地点後方ゲート および フィニッシュライン側のゲートのみとする。メインスタンド正面入口からの入場は不可とする。
競技終了後は競技の妨げとならないように注意し、最寄りのゲートから退場する。
- ②トラック競技に出場する競技者は、フィニッシュ後はバックストレート側を通過してスタート地点に戻る。フィニッシュ後にメインスタンド前を通らないこと。
- ③フィールド競技者も他の競技の妨げとならないよう、係員の指示に従うこと。

8 トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順等について

- ①トラック競技の予選の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、速報サイト等に示すので、審判員の指示に従うこと。
- ②リレー競走に出場するチームはリレーオーダー用紙を作成し、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻の1時間前までにTICに提出する。リレーオーダー用紙はTICで配布する。
また、事前に栃木陸協Webサイトにもリレーオーダー用紙を掲載する。
- ③リレー競走に出場するチームは、原則として同一ユニフォームで参加すること。上衣のデザインが統一されていれば、シャツ・パンツ・タイツの形状が異なっても良い。

9 跳躍競技（高さ・踏切板の距離）について

（※審判長の判断で、変更することもある。）

種目		練習	試技
走高跳	男子	1.65 1.90	1.70～1.75～1.80～1.85～1.95～2.00～2.05～2.08・以後3cm
	女子	1.35	

- ①上記以後の高さについては、跳躍審判長の指示による。
- ②雨天の際は協議の上、高さを変更することもある。

10 競技について

- ①トラック競技はタイムレース決勝のみ実施する。
- ②走幅跳は3回の試技までの実施とする。
- ③トラック競技は、不正スタート1回で失格とする。
- ⑤リレーについて
ア) リレーには各団体および各学校から複数チーム出場することができる。
イ) リレーチームの競技者が何らかの理由で欠場し、リレーチームの編成ができない場合、当該団体・学校の競技者で他の種目に出場している選手をリレーメンバーとして起用することは認める。

⑥各競技の結果はWeb上の速報サイトに掲載する。

⑦各競技の開始時刻や招集時刻については、プログラムに記載されている競技日程が正式なものである。栃木陸協のWeb速報サイトに記載する競技開始時刻や招集開始時刻は、コンピュータシステムの不具合により、誤った表記をする場合がある。競技日程等については、必ずプログラムに記載されている事項を確認すること。

11 抗議について

WA 競技規則 TR8 による。

12 助力について

①競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出ること。

②ビデオ装置、音楽プレーヤー、トランシーバー、携帯電話、スマートフォン、その他の電子機器を競技場内に持ち込んで서는ならない。

③助言または映像機器の視聴は、競技運営並びに他の競技者の競技の妨げにならない範囲で、認める。

13 警告について

不当な行為をした競技者には、当該審判長から警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことで競技者に知らされる。

14 プログラム訂正について

プログラムに訂正がある場合は大会1日目の競技開始1時間前までに、TICに申し出る。

15 その他

①TIC (Technical Information Center) をメインスタンド1階正面出入口付近に設置する。TICでは、参加団体受付、オーダー用紙の取扱い、競技に関する抗議の受付、プログラム訂正の受付、遺失物保管などの業務を行う。

②競技中の傷病などについては、主催者が応急手当をするが、以後の責任は負わない。

③競技場内でのテント設置は芝生スタンドを譲り合って使用すること。また、競技場外の公園敷地にテントを設置することは一切禁止する。

④**雷発生時などの非常時には、競技役員の指示にて屋内に避難する。**

⑤メインスタンド内のトイレを使用する際は、スパイクシューズ脱いで入場すること。

⑥更衣室・シャワー室は、男女ともメインスタンド内の更衣室を使用すること。

⑦ユニフォームやバッグ等の商標に関する規定については、日本陸連の指針に則った対応とする。(下記QRコードから閲覧できる日本陸連公式サイトを参照)

競技会における広告および展示物に関する規程〔国内〕



16 災害時の避難場所

会場責任者の判断により避難の放送が入るので、避難誘導係の指示に従って落ち着いて行動すること。雷発生時などは、競技役員の指示にて屋内に避難する。